

平成26年度 第5回紀の川市 子ども・子育て会議

日時：平成26年12月12日9時30分から

場所：紀の川市役所 3階庁議室

出席者：金川会長、服部副会長、前田委員、藤田委員、矢野委員、土野委員、田岡委員、  
稲垣委員、橋本委員、真砂委員、長岡委員、山本委員

欠席者：松本委員、曾和委員、忠岡委員、坂口委員

事務局：榎本、片山、増田 山口

---

議題

- (1) 紀の川市子ども子育て支援事業計画（素案）について
- (2) 利用者負担について
- (3) その他

## 事務局

只今より第5回子ども子育て会議を始める。

## 金川会長

本日の会議では、素案の内容を確認いただき、パブリックコメントに向かいたいとのこと。

あと、利用者負担についても確認願う。

それでは議事に従い（1）紀の川市子ども子育て支援事業計画（素案）について事務局から説明願う。

## 事務局

（1）紀の川市子ども子育て支援事業計画（素案）について説明

## 会長

今の説明で何か質問、意見はないか。

## 長岡委員

1か所、修正をお願いしたい。

第5節で母子推進委員としてほしい。

## 田岡委員

学童保育10か所となっているが。

## 事務局

もう1か所は市の単独事業であるため、ここでは外している。

## 田岡委員

母子推進委員人数を入れて欲しい。

23ページの第7節民生委員と児童委員は入っているが母子推進委員として追加してほしい。

## 事務局

第7節に「3」として母子推進委員数の推移を追加する。

細かい誤字の修正等もあるが、今後事務局で行う。

大きな修正があれば指摘願う。

## 会長

今の説明で質問、意見はないか。

## 藤田委員

58 ページに、市とてまずは認可保育所の提供量の確保に努め、それでも賄えない需要が発生し、必要となれば地域型保育事業等の活用を図るとある。子どもを中心に考えていくというのが表れているが、現在は保護者からものすごく多種多様なニーズを求められているため、そのニーズにあった施設を選べるような仕組みづくりをして欲しい。

認可外の記載があるがこの単位は施設数か。

## 事務局

単位は「人」で4人という意味です。

## 藤田委員

小規模保育なども待機児童が多いかどうかなどということもあるのだろうがそれに関わらず選択肢の一つとしてあった方がいいと思う。

もう一点、前回議会で承認いただくということで条例があったと思うのだがこれはどのようになったのか

## 事務局

小規模保育における0歳から2歳児の受け入れは今のところ定員に余裕のある限り保護者の希望通りになっている。保育所を選べるのかという意見に対しては校区が決まっているわけでもないので現状でも選択していただけ。

ただ、特に0歳児については施設が整備されていないので、すべての施設で受け入れられていない。

もう一点の議会への条例案の提案だが、条例自体は国の基準に準じると  
いうこともあり全て可決されている。

### **藤田委員**

ということは確認は取れるかどうかということか。許可は取れるという  
ことか。

### **事務局**

基準を満たしておれば基本的に許可は行います。その上で、市において需  
要がある場合、確認を行っていかうと考えている。

### **藤田委員**

地域を飛び越えて他の保育所に行けるということを保護者に説明しても  
いいのか。

### **事務局**

保育所は小学校のように校区がないので希望を書いて貰えばできるだけ  
希望に沿う形にしている。

しかし、定員があるので希望に添えないものも出てきている。

### **長岡委員**

個人的に一市民としてこの素案を見ていると本当に知りたいことが載っ  
ていない。保育所、幼稚園、小学校、中学校の所在地などをつけて欲しい。  
保護者としてはこれをもとにして連絡したいのでつけて欲しい。

### **事務局**

計画書を全戸配布するわけではない。

概要版は作る予定だが、1,000部程度となっている。

全戸配布する場合はそれらの情報をつけるように考えたい。

### **金川会長**

PDFなどの電子ファイルとして、ホームページなどで子育て支援マッ

プなどを作って公開するのは良いと思う。計画書に記載すると移転などや連絡先が変わった場合に対応しづらくなる。概要版はA4版で8ページほどだと思うが、その中ですべてを表現するのは難しいと思う。

長岡委員

それなら最後のページにでも紀の川市の地図を掲載し、その中に点で表記し、学童クラブがここにあるなどもわかれば良いと思う。26年度現在として所在地などを掲載してほしい。

### 事務局

ご希望に添えず申し訳ありませんが、計画書に載せていく予定はありません。

ですが、たとえば、他の市町村では計画とは別に子育ての内容をまとめた冊子をしているところもある。「子育てハンドブック」というようなものだが、紀の川市においてもこれを作る必要はあると思う。

計画は計画として作り、子育てハンドブックのようなものを作るというのではどうか。

### 金川会長

和歌山市の子育てハンドブックはNPOに委託して作っている。

乳児健診や全戸訪問事業などで配布している。

乳児健診のときにもらった1枚もののチラシなどでは捨てられてしまう可能性が高いが、冊子として保存版としてまとめてはどうか。

### 真砂委員

ニーズ調査結果の自由記述には、子育て支援の情報が非常にわかりにくいという意見があった。どの課でどのような支援をやっているのかがわかるような一覧表があっても良いと思う。

また、この5年間で子育てに関する状況がすごく変わっていると思う。

前回の計画そのままというのではなく、付け加えて行く必要があるのではないか。

## 金川会長

事業についての精査は必要だと考える。

これらの事業をもう一度再確認して追加削除を行ってほしい。

他の自治体で進めているのだが、重点事業を設定することはいいと思う。  
例えば各項目から一つでなくてもいいので、数値目標を立ててみてはどうか。

あるべき姿を少し入れて行くことによってよりわかりやすくなるのではないかと思う。

p46の45番などの担当課が複数ある場合、主担当課を決める必要がある。

## 田岡委員

全体的に散らかってるなという印象だ。子どもの活動内容を考えるというよりは、お母さんに働きに行かそうとしているように感じる。

## 金川会長

本来国の施策としては質と量を充実するべきだと考えているようだ。

## 田岡委員

お母さん働きありきという感じがする。

アンケートの回収率を見ても、就学前のお母さんは関心があるのだが、小学校になると関心が薄れてくると思う。参観なども参加率が少なくなってくる。保育所で保護者の手を煩わせないようにしている節があると思う。発表会には行くけど懇談会は嫌といった感じがあるように思う。横のつながりを作るのに保育所はすごく大事だと思う。

## 長岡委員

それは私も感じる。

今では行事でも平日に行われていることが多く、働いている方はいけない。

保護者をもっと子育てにかかわらせるようにしないといけないと思う。

保育所側ももっと保護者を巻き込むようにして欲しい。

## 田岡委員

一番最初に出ていく場所が保育所だと思う。保育所が拠点になればいいと思う。小学校に上がっても子育てに関わらなきゃという感覚が出てくると思う。

## 長岡委員

子育てに対して保護者が興味を持たないというのが問題だと思う。親が出てこれるような行事を休日などにやってほしい。

## 金川会長

この計画を通じて地域に親が関わっていける計画にするべきだと思う。この計画をきっかけにうまく参加できる形が理想だと思う。参加しても負担を押し付けられるだけではなく楽しむ必要がある。

## 事務局

20年前と今とでは保護者の考え方も変わっていると思う。

働けよというよりは働かなければ今の生活の水準を維持できないから働かざる負えないということだと思う。逆にお手伝いや参加をお願いしてもクレームにつながることもあるので、関わることを減らしている傾向はあるかもしれない。

役などを依頼しても「そういうのはやらずに済むようにしてほしい」という意見もある。

そのような風潮があるのでなるべく保護者が関わらずに、負担の無いようにしているのが現状だと思う。

## 土野委員

平日休みの人も多く、土日働いている人も多い。

結局どこに合わせるかということになってくる。

企業がそういうところで休むことができる就労関係があればと思う。

## 金川会長

いい問題定義であったと思う。

他にないか。

### **事務局**

今後この素案をもとにパブリックコメントを行いたいと考えている。  
会議で出た案をもとに素案を修正してパブリックコメントにかかけたい。  
そこで出た意見は委員の皆さんに会議で提示したい。

### **金川会長**

今回の素案を修正するというので、事業計画などは確定していないものも多いと思うので変更の可能性があるが但し書きが必要だ。  
パブリックコメントの対象は紀の川市在住・在勤なのか。

### **事務局**

その通りだ。

### **金川会長**

意見はメール、ファックスなどで受け付けるのか。

### **事務局**

素案はホームページと子育て支援課での閲覧を行う。意見の提出はメール、ファックス、窓口での受付などを考えている。

### **金川委員長**

パブリックコメントの公表の仕方を後日委員に提示するようにしてほしい。

次の議題に移りたい。

(2) 利用者負担について事務局より説明願う。

### **事務局**

(2) 利用者負担について説明

### **金川会長**



今の説明について質問、意見はないか  
負担割合をかけていくなど調整するのは他の市町村でも行われている。  
現状の負担割合から負担がなるべく増えないようにお願いしたい。

#### **田岡委員**

この金額でやっていただいているのはありがたいし大変だと思う。  
これでやっていけるのだろうか。  
0歳児など保育士などを余計に配置しなければいけない中で大変だと思う。

#### **事務局**

3児以上は無料ということもあり、これ以上下げるとは考えていない。  
市長まではまだ相談していないのだが部の中ではこれで行こうと考えている。

#### **副会長**

新制度に伴い、算定基準が所得税から市民税の基準に変わる。  
基本的には変えないということで進めている。

#### **土野委員**

国の政策もよくわからない中で財源も消費税があやふやな中で大変だと思うが、同じ紀の川市に育っている子供達が同じ条件で育てられるということはとてもいいことだと思う。

#### **金川委員長**

その他ということでここまで意見質問はないか。  
事務局はいかがか。

#### **事務局**

今後のスケジュールについて説明

#### **金川会長**

これで議事を事務局にお返りする。

**事務局**

ありがとうございました。